

「斜紋夜盗 (ハスモンヨトウ) (2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

「ハスモンヨトウ」の和名の由来は、なかなか面白い。まず「ヨトウ」であるが、漢字では「夜盗」と書く。「ヨトウガ(夜盗蛾)の一種」の意味である。この妖気満点な名称は、幼虫の行動に由来する。ヨトウガの仲間は、昼は土中に身をひそめ、夜になると、植物に這い上がって、葉を食い荒らす。まさしく「夜盗」である。



試しに、幼虫をサツマイモの葉の上に置いても、まったく興味を示さず、丸くなったり、葉の裏側に隠れようとする行動をとる。昼は食餌行動をしないのだ。



修飾節に相当する「ハスモン」のほうは「斜紋」と書く。「斜(はす)に構える」の「はす」である。こ

れは、成虫の翅の文様に由来する。静止姿勢(壁や木の幹に止まった姿勢)で見ると、前翅(上ばね)に顕著な斜めの模様がある。これが和名の由来だ。成虫の形態と、幼虫の行動の両方の特徴を合わせ持った、稀に見る蛾の名称と言える。



サツマイモの収穫の最中にも、土中に隠れていた幼虫が、ワンサカと見つかった。別に持って来るように指示したわけでもないのに、飼育ケースは、あっというまに「ハスモン・ワールド」になってしまった。(幼虫・成虫とも毒はなく、人体には無害である。)



じつはこのハスモンヨトウの幼虫、アゲハやモンシロチョウとちがって、食草が実に広範囲に及び、およそ「野菜」と呼べるものは、どんな葉でも食べてしまう。(果樹の葉も食べる)農薬への耐性が強く、しかも昼は土中にいるので駆除も難しい。誠に農家泣かせの、厄介な害虫だという。良い学習材かも知れない。